

取扱説明書

DuraVision® FDU2101

カラー液晶モニター

FDU2101T

タッチパネル装着カラー液晶モニター

重要

ご使用前には必ずこの取扱説明書およびセットアップマニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。

- モニターの設置から使いはじめるまでの基本説明についてはセットアップマニュアルを参照してください。
- 最新の取扱説明書は、当社のWebサイトからダウンロードできます。

<http://www.eizo.co.jp>



-
-
- 1.本書の著作権はEIZO株式会社に帰属します。本書の一部あるいは全部をEIZO株式会社からの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
 - 2.本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
 - 3.本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
 - 4.本機の使用を理由とする損害、逸失利益などの請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
-
-

モニターについて

セットアップマニュアルに記載されている用途以外での使用は、保証外となる場合があります。

本書に定められている仕様は、当社が指定する信号ケーブル使用時にのみ適用いたします。

この製品には、当社オプション品または当社が指定する製品をお使いください。

製品内部の電気部品の動作が安定するのに、約30分かかりますので、モニターの調整は電源を入れて30分以上経過してからおこなってください。

経年使用による輝度変化を抑え、安定した輝度を保つためには、ブライトネスを下げた使用されることをお勧めします。

同じ画像を長時間表示することによって、表示を変えたときに前の画像が残像として見えることがあります。長時間同じ画像を表示するようなときには、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。

この製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをお勧めします（「[クリーニングの仕方](#)」(P.4) 参照）。

液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素が見える場合がありますので、あらかじめご了承ください。また、有効ドット数の割合は99.9994%以上です。

液晶パネルに使用されるバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しなくなったときには、販売店またはEIZOサポートにお問い合わせください。

パネルを固い物や先のとがった物などで押したり、こすったりしないようにしてください。傷が付く恐れがあります。なお、ティッシュペーパーなどで強くこすっても傷が入りますのでご注意ください。

この製品を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、製品の表面や内部に露が生じることがあります（結露）。結露が生じた場合は、結露がなくなるまで製品の電源を入れずにお待ちください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。

（タッチパネル使用時の注意事項）

・タッチ操作時

次の点に注意してください。故障の原因となります。

- パネルを強く押したり、こすったり、突いたりしないでください。
 - ボールペンや金属類などの硬い物でパネルをタッチしないでください。
-

クリーニングの仕方

注意点

- アルコール、消毒薬などの薬品は、パネル面の光沢の変化、変色、色あせ、画質の劣化などにつながる恐れがあります。
- シンナー、ベンジン、ワックス、研磨クリーナーは、パネル面をいためるため絶対に使用しないでください。
- パネル面とパネルの外枠との間に、液体が入らないように注意してください。

参考

- パネル面のクリーニングにはScreenCleaner（オプション品）をご利用いただくことをお勧めします。

パネル面の汚れは、やわらかい布に少量の水をしめらせてやさしくふき取ってください。

モニターを快適にご使用いただくために

- 画面が暗すぎたり、明るすぎたりすると目に悪影響をおよぼすことがあります。状況に応じてモニター画面の明るさを調整してください。
- 長時間モニター画面を見続けると目が疲れますので、1時間に約10分の休憩を取ってください。

目次

表紙	1	第3章 モニターの設定をする	21
モニターについて	3	3-1. フロントボタン/電源ランプの明るさを設定する	21
クリーニングの仕方	4	3-2. 表示言語を設定する	21
モニターを快適にご使用いただくために	4	3-3. 調整メニューの位置を変更する	21
目次	5	3-4. EIZOロゴ表示を設定する	22
第1章 はじめに	7	3-5. 操作ボタンをロックする	22
1-1. 特長	7	3-6. DDC/CI通信の有効/無効を設定する	22
1-2. EIZO LCDユーティリティディスクについて	8	3-7. Backlight Off Modeの設定をする	23
● ディスクの内容と概要	8	3-8. 初期設定に戻す	23
● タッチパネルドライバを使用するときは	8	● カラー調整値をリセットする	23
1-3. 基本操作と機能一覧	9	● すべての設定内容をリセットする	23
● 調整メニューの基本操作方法	9	第4章 省電力機能について	24
● ボタンガイドを表示する	10	4-1. パワーセーブの設定をする	24
● 機能一覧	11	4-2. モニターの自動明るさ調整の設定をする	25
第2章 画面を調整する	12	4-3. モニターの自動電源切断機能の設定をする	25
2-1. 解像度を設定する	12	第5章 こんなときは	26
● 表示解像度	12	5-1. 画面が表示されない場合	26
● 解像度の設定方法	12	5-2. 画面に関する症状（デジタル・アナログ共通）	27
2-2. 画面を正しく表示する	13	5-3. 画面に関する症状（アナログのみ）	28
● デジタル信号入力の場合	13	5-4. その他の症状	28
● アナログ信号入力の場合	13	5-5. タッチパネルに関する症状（FDU2101Tのみ）	29
2-3. カラー調整をする	16	第6章 ご参考に	30
● ブライトネス（明るさ）を調整する	16	6-1. 複数のコンピュータを接続する	30
● コントラストを調整する	17	● 入力信号を切り替える	31
● 色温度を調整する	17	● 入力信号の切替方法を設定する	31
● ガンマを調整する	17	6-2. モニター情報を表示する	32
● 色合いを調整する	18	● 信号情報を表示する	32
● 色の濃さを調整する	18	● モニター情報を表示する	32
● コントラスト拡張の有効/無効を切り替える	18	6-3. 仕様	33
● 輪郭補正をする	19	6-4. 用語集	37
● ゲインを調整する	19	6-5. プリセットタイミング	39
2-4. 表示サイズを切り替える	20		
● 表示サイズを切り替える	20		
2-5. オートシャープネスの有効/無効を設定する	20		

付録	40
商標	40
ライセンス	40
船級型式承認.....	41

第1章 はじめに

このたびは当社カラー液晶モニターをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

1-1. 特長

- 21.3 型画面
 - 解像度 1600 × 1200 対応
 - 上下左右 89° の広視野角を実現
 - 低輝度までの調光を実現
また、バックライトを消灯させるモードも搭載しました。
(調整メニューの「ブライトネス」を下限値にしたときの状態を設定できます。)
「3-7. Backlight Off Modeの設定をする」 (P.23)
 - Auto EcoView 機能
モニター正面のセンサーが周囲の明るさを検知し、明るさに応じて自動的に画面の明るさを調整します。
「4-2. モニターの自動明るさ調整の設定をする」 (P.25)
 - モニターのフロントボタン / 電源ランプが点灯
暗い環境でもモニターの操作ができるよう、フロントボタン (操作ボタン、電源ボタン) と電源ランプが緑色に光ります。光の明るさを調整することもできます。
「3-1. フロントボタン/電源ランプの明るさを設定する」 (P.21)
 - ファンレス設計により静音を実現
 - 著作権保護技術 HDCP 対応
 - 船級の型式承認
この製品は、次の船級の型式承認を取得しています。
NK (日本海事協会)、DNV (ノルウェー船級協会)、ABS (アメリカ船級協会)、LR (ロイド船級協会)
※上記以外の船級の取得状況については、当社Webサイトでご確認ください。<http://www.eizo.co.jp>
- (FDU2101Tのみ)**
- タッチパネル標準装備
 - アナログ抵抗膜方式を採用
ペンや素手のほか、手袋をはめたままでも操作が可能です。

1-2. EIZO LCDユーティリティディスクについて

この製品には「EIZO LCDユーティリティディスク」(CD-ROM)が付属しています。ディスクの内容やソフトウェアの概要は次のとおりです。

● ディスクの内容と概要

ディスクには、調整用のソフトウェア、タッチパネル用のソフトウェア、取扱説明書が含まれています。各項目の起動方法や参照方法はディスク内のReadmeja.txtを参照してください。

内容	概要	Windows	Macintosh
Readmeja.txtファイル		○	○
画面調整パターン集	アナログ信号入力の画面を手動で調整する際に役立つパターン集です。	○	○
タッチパネルドライバ*	タッチパネルのドライバです。	○	-
モニターの取扱説明書(PDFファイル)		○	○
タッチパネルドライバの取扱説明書(PDFファイル)*		○	-

* FDU2101Tの場合にのみ使用します。

● タッチパネルドライバを使用するときは

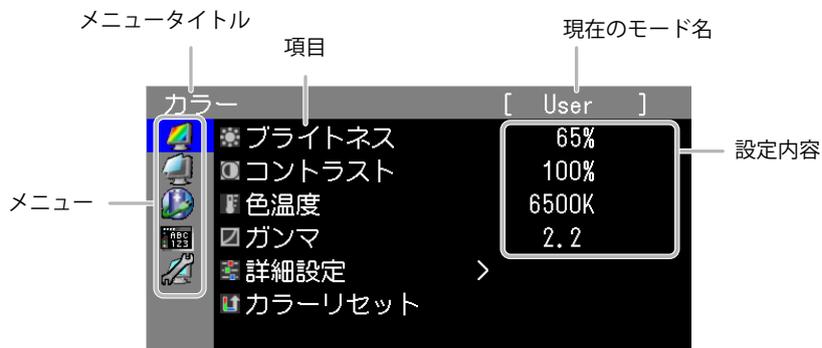
タッチパネルドライバのインストール方法、使用方法などの詳細については、タッチパネルドライバの取扱説明書(CD-ROM内)を参照してください。

1 - 3. 基本操作と機能一覧

● 調整メニューの基本操作方法

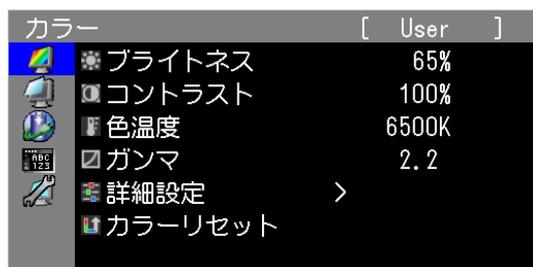
1. 調整メニューの表示

1. ○を押し、調整メニューを表示します。

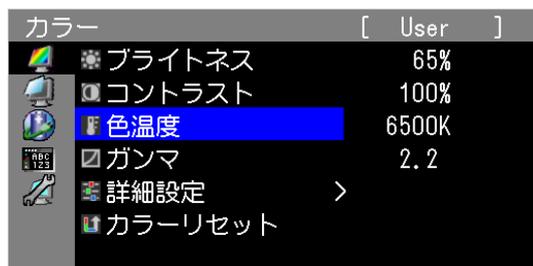


2. 調整/設定

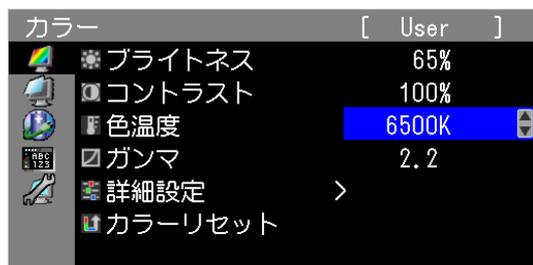
1. ▲▼で、調整/設定したいメニューを選択し、○を押します。



2. ▲▼で、調整/設定したい項目を選択し、○を押します。



3. ▲▼で、調整/設定し、○を押して確定します。

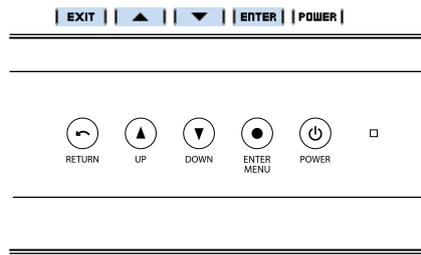


3. 終了

1. ○を数回押すと、メニューを終了します。

● ボタンガイドを表示する

Ⓞ 以外のフロントボタンを押すと、ボタンの上にボタンガイドが表示されます。



参考

- 調整メニュー表示中は、ボタンガイドが常に画面に表示されます。
- ボタンガイドの表示は、表示しているメニューや状態によって異なります。

● 機能一覧

調整メニューの調整および設定項目一覧表です。

メインメニュー	項目	参照先
カラー 	 ブライツネス	「2-3. カラー調整をする」 (P.16)
	 コントラスト	
	 色温度	
	 ガンマ	
	 詳細設定  色合い  色の濃さ  コントラスト拡張  輪郭補正  ゲイン	
	 カラーリセット	
		 画面サイズ  アナログ調整  自動調整  レンジ調整  クロック  フェーズ  水平ポジション  垂直ポジション
	 アナログ調整  自動調整  レンジ調整  クロック  フェーズ  水平ポジション  垂直ポジション	「2-2. 画面を正しく表示する」 (P.13)
Power Manager 	 パワーセーブ	「4-1. パワーセーブの設定をする」 (P.24)
	 Auto EcoView	「4-2. モニターの自動明るさ調整の設定をする」 (P.25)
	 電源ランプ	「3-1. フロントボタン/電源ランプの明るさを設定する」 (P.21)
	 Ecoタイマー	「4-3. モニターの自動電源切断機能の設定をする」 (P.25)
メニュー設定 	 言語選択	「3-2. 表示言語を設定する」 (P.21)
	 メニューポジション	「3-3. 調整メニューの位置を変更する」 (P.21)
ツール 	 入力	「入力信号を切り替える」 (P.31)
	 入力切替	「入力信号の切替方法を設定する」 (P.31)
	 オートシャープネス	「2-5. オートシャープネスの有効/無効を設定する」 (P.20)
	 入力信号情報	「6-2. モニター情報を表示する」 (P.32)
	 モニター情報	
	 オールリセット	「3-8. 初期設定に戻す」 (P.23)

第2章 画面を調整する

2-1. 解像度を設定する

● 表示解像度

この製品の対応解像度については、セットアップマニュアル「表示解像度について」を参照してください。

● 解像度の設定方法

モニターをコンピュータに接続したときに適切な解像度で表示されない場合、または解像度を変更したい場合は、次の手順で解像度を変更します。

Windows 7の場合

1. デスクトップ上のアイコンがない場所で、マウスの右ボタンをクリックします。
2. 表示されるメニューから「画面の解像度」をクリックします。
3. 「画面の解像度」ダイアログボックスで、モニターを選択します。
4. 「解像度」をクリックして変更したい解像度を選択します。
5. 選択したら、「OK」ボタンをクリックします。
6. 確認のダイアログボックスが表示されるので、「変更を維持する」ボタンをクリックします。

Windows Vistaの場合

1. デスクトップ上のアイコンがない場所で、マウスの右ボタンをクリックします。
2. 表示されるメニューから「個人設定」をクリックします。
3. 「個人設定」ウィンドウで「画面の設定」をクリックします。
4. 「画面の設定」ダイアログボックスで「モニタ」タブを選択し、「解像度」の欄から変更したい解像度を選択します。
5. 選択したら、「OK」ボタンをクリックします。
6. 確認のダイアログボックスが表示されるので、「はい」ボタンをクリックします。

Windows XPの場合

1. デスクトップ上のアイコンがない場所で、マウスの右ボタンをクリックします。
2. 表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。
3. 「画面のプロパティ」ダイアログボックスが表示されるので、「設定」タブをクリックし、「ディスプレイ」の「画面の解像度」で解像度を選択します。
4. 選択したら、「OK」ボタンをクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

Mac OS Xの場合

1. アップルメニューの「システム環境設定」をクリックします。
2. 「システム環境設定」ダイアログボックスが表示されるので、「ハードウェア」欄の「ディスプレイ」をクリックします。
3. 表示されたダイアログボックスで「ディスプレイ」タブを選択し、「解像度」の欄から変更したい解像度を選択します。
4. 選択したらすぐに画面が変更されるので、適切な解像度に設定したらウィンドウを閉じます。

2-2. 画面を正しく表示する

● デジタル信号入力の場合

デジタル信号入力の場合は、この製品の設定データに基づいて画面が正しく表示されますが、詳細な調整をおこなう場合は「2-3. カラー調整をする」(P.16)以降を参照してください。

● アナログ信号入力の場合

注意点

- ・製品内部の電気部品の動作が安定するのに、約30分かかりますので、モニターの調整は電源を入れて30分以上経過してからおこなってください。
 - ・垂直解像度が480以下の信号ではセルフアジャスト機能は働きません。
 - ・セルフアジャスト機能/自動画面調整機能は画面の表示可能エリア全体に画像が表示されている場合に正しく動作します。次のような場合には、正しく動作しません。
 - コマンドプロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合
 - 壁紙など背景を黒で使用している場合
- また、一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。

モニターの画面調整とは、使用するコンピュータに合わせ、画面のちらつきを抑えたり画像の表示位置やサイズを正しく調整するためのものです。

参考

- ・次の場合にセルフアジャスト機能が働きます。
 - モニターに初めて信号を入力した場合、または、これまでに表示したことのない解像度や垂直走査周波数、水平走査周波数に変更した場合

セルフアジャスト実行後も、画面が正確に表示されていない場合は、快適に使用していただくために、次の設定手順に従って画面の調整をしてください。

設定手順

1. 自動調整をします。

● 画面のちらつき、表示位置、サイズを自動調整する

設定方法

1. 調整メニューの「スクリーン」を選択し、**●**を押します。
2. 「スクリーン」で「アナログ調整」を選択し、**●**を押します。
3. 「アナログ調整」で「自動調整」を選択して、**●**を押します。

自動調整機能が働き（「実行中」とメッセージが表示されます）、画面のちらつき・表示位置・サイズが正しく調整されます。

自動調整が完了するとメッセージが表示されます。確定する場合は「OK」を、元に戻す場合は「キャンセル」を選択して**●**を押します。

「1. 自動調整をします。」 (P.14) を実行しても画面が正確に表示されていない場合は次の手順に従って調整をおこなってください。正確に表示された場合は、「5. 色階調を調整します。」 (P.16) にお進みください。

2. アナログ画面調整用のパターンを準備します。

「EIZO LCD ユーティリティディスク」をコンピュータにセットし、「画面調整パターン集」を開きます。

参考

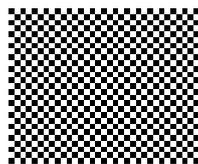
・「画面調整パターン集」の開き方および内容については、Readmeja.txtファイルを参照してください。

3. アナログ画面調整用のパターンを表示して、再度自動調整をします。

● 画面のちらつき、表示位置、サイズを自動調整する

設定方法

1. 「画面調整パターン集」のパターン1を画面全体に表示します。



2. 調整メニューの「スクリーン」を選択し、**●**を押します。
3. 「スクリーン」で「アナログ調整」を選択し、**●**を押します。
4. 「アナログ調整」で「自動調整」を選択して、**●**を押します。

自動調整機能が働き（「実行中」とメッセージが表示されます）、画面のちらつき・表示位置・サイズが正しく調整されます。

自動調整が完了するとメッセージが表示されます。確定する場合は「OK」を、元に戻す場合は「キャンセル」を選択して**●**を押します。

「3. アナログ画面調整用のパターンを表示して、再度自動調整をします。」 (P.14) を実行しても画面が正確に表示されていない場合は次の手順に従って調整をおこなってください。正確に表示された場合は、「5. 色階調を調整します。」 (P.16) にお進みください。

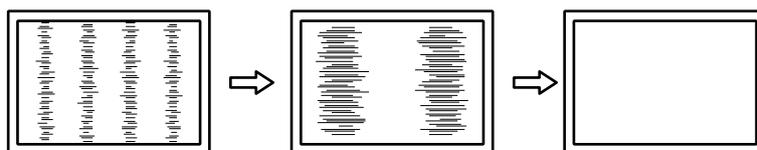
4. 「スクリーン」の「アナログ調整」で詳細な調整をします。

クロック→フェーズ→ポジションを順に調整します。

● 縦縞を消す

設定方法

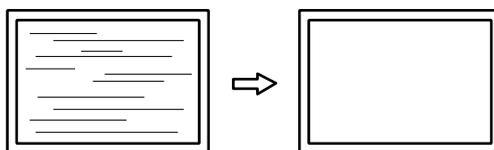
1. 「アナログ調整」で「クロック」を選択し、●を押します。
2. ▲または▼で縦縞が消えるように設定します。
設定が合ったポイントを見逃しやすいので▲▼をゆっくり押して設定するようにしてください。
3. 設定が完了したら●を押します。
設定後、画面全体ににじみやちらつき、横線が出た場合は次の「ちらつきやにじみをとる」に進み設定をおこなってください。



● ちらつきやにじみをとる

設定方法

1. 「アナログ調整」で「フェーズ」を選択し、●を押します。
2. ▲または▼で最もちらつきやにじみのない画面に設定します。
3. 設定が完了したら●を押します。



注意点

- ・お使いのコンピュータやグラフィックスボードによっては、完全になくなるものがあります。

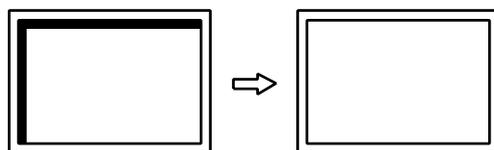
● 表示位置のずれを直す

参考

- ・液晶モニターは画素数および画素位置が固定であるため、画像の正しい表示位置は1箇所です。ポジション調整とは画像を正しい位置に移動するための調整です。

設定方法

1. 「アナログ調整」で「水平ポジション」または「垂直ポジション」を選択し、●を押します。
2. 画像の位置が合うように▲または▼で設定します。
3. 設定が完了したら●を押します。
設定後、画面に縦縞が現れた場合は、「縦縞を消す」に戻り、再度設定をおこなってください。（クロック→フェーズ→ポジション）



4. パターン1を閉じます。

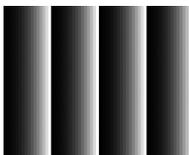
5. 色階調を調整します。

● 色階調を自動調整する

信号の出力レベルを調整し、すべての色階調（0～255）を表示できるように調整できます。

設定方法

1. 「画面調整パターン集」のパターン2を画面全体に表示します。



2. 調整メニューの「スクリーン」を選択し、●を押します。
3. 「スクリーン」で「アナログ調整」を選択し、●を押します。
4. 「アナログ調整」で「レンジ調整」を選択して、●を押します。

色階調が自動的に調整されます。

自動調整が完了するとメッセージが表示されます。確定する場合は「OK」を、元に戻す場合は「キャンセル」を選択して●を押します。

5. パターン2を閉じます。

2-3. カラー調整をする

注意点

- ・製品内部の電気部品の動作が安定するのに、約30分かかりますので、モニターの調整は電源を入れて30分以上経過してからおこなってください。
- ・モニターにはそれぞれ個体差があるため、複数台を並べると同じ画像でも異なる色に見える場合があります。複数台の色を合わせるときは、視覚的に判断しながら微調整してください。

参考

- ・「%」、「K」表示は調整の目安としてご利用ください。

● ブライトネス（明るさ）を調整する

バックライト（液晶パネル背面の光源）の明るさを変化させて、画面の明るさを調整します。

設定範囲

1～100%	「Backlight Off Mode」：「オフ」設定時 (P.23)
0～100%	「Backlight Off Mode」：「オン」設定時 (P.23) (設定を下限値(0%)にすると、バックライトが消灯し画面が真っ暗になります。)

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、●を押します。
2. 「カラー」で「ブライトネス」を選択し、●を押します。
3. ▲または▼で設定します。
4. 設定が完了したら●を押します。

参考

- ・直接▲または▼を押して設定することもできます。（設定値は調整メニューの「カラー」を表示して確認してください。）

● コントラストを調整する

ビデオ信号のレベルを変化させて、画面の明暗を調整します。

設定範囲

0~100%

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、**○**を押します。
2. 「カラー」で「コントラスト」を選択し、**○**を押します。
3. **▲**または**▼**で設定します。
4. 設定が完了したら**○**を押します。

参考

- 100%ですべての色階調を表示します。
-

● 色温度を調整する

色温度を調整します。

通常「白」または「黒」の色合いを数値的に表現するとき用いられるもので、K：Kelvin（ケルビン）という単位で表します。

炎の温度と同様に、画面は色温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。また、色温度の設定値ごとにゲインのプリセット値が設定されています。

設定範囲

Native、4000K~10000K（500K単位、9300K含む）

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、**○**を押します。
2. 「カラー」で「色温度」を選択し、**○**を押します。
3. **▲**または**▼**で設定します。
4. 設定が完了したら**○**を押します。

参考

- 「ゲイン」でさらに詳細な調整が可能です（「ゲインを調整する」（P.19）参照）。
 - 「Native」でパネル本来の色（ゲインの値はRGB各100%）になります。
 - ゲインの値を変更すると、色温度は「User」になります。
-

● ガンマを調整する

ガンマ値を調整します。モニターは入力される信号によって明るさが変化しますが、この変化率は入力信号と単純な比例関係にありません。そのため入力信号と明るさの関係が一定の関係になるよう制御をおこなうことをガンマ補正といいます。

設定範囲

1.8、2.0、2.2、2.4、2.6

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、**○**を押します。
2. 「カラー」で「ガンマ」を選択し、**○**を押します。
3. **▲**または**▼**で設定します。
4. 設定が完了したら**○**を押します。

● 色合いを調整する

色合いを調整します。

設定範囲

-100～100

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、**○**を押します。
2. 「カラー」で「詳細設定」を選択し、**○**を押します。
3. 「色合い」を選択し、**○**を押します。
4. **▲**または**▼**で設定します。
5. 設定が完了したら **○**を押します。

注意点

・この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。

● 色の濃さを調整する

色の濃さを調整します。

設定範囲

-100～100

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、**○**を押します。
2. 「カラー」で「詳細設定」を選択し、**○**を押します。
3. 「色の濃さ」を選択し、**○**を押します。
4. **▲**または**▼**で設定します。
5. 設定が完了したら **○**を押します。

注意点

・この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。

参考

・最小値 (-100) で白黒の画面となります。

● コントラスト拡張の有効/無効を切り替える

映像に合わせてバックライトの明るさとゲインレベルを制御するとともに、ガンマ値を補正し、コントラスト感のある画像を実現する機能です。

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、**○**を押します。
2. 「カラー」で「詳細設定」を選択し、**○**を押します。
3. 「コントラスト拡張」を選択し、**○**を押します。
4. **▲**または**▼**で「オン」または「オフ」を選択します。
5. 調整が完了したら **○**を押します。

● 輪郭補正をする

画像を構成するピクセル間の色の差を強調することにより、画像の輪郭を強調するとともに質感、素材感を向上させる機能です。逆に輪郭をぼかして画像をなめらかに見せることもできます。

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、●を押します。
2. 「カラー」で「詳細設定」を選択し、●を押します。
3. 「輪郭補正」を選択し、●を押します。
4. ⬆または⬇で表示状態を-3~3（ソフト~シャープ）の範囲から好みに応じて選択します。
5. 調整が完了したら●を押します。

● ゲインを調整する

色を構成する赤、緑、青のそれぞれの明るさをゲインと呼びます。これを調整することで、「白」の色調を変更することができます。

設定範囲

0~100%

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、●を押します。
2. 「カラー」で「詳細設定」を選択し、●を押します。
3. 「ゲイン」を選択し、●を押します。
4. 「Red」、「Green」、「Blue」の中から調整する色を選択し、●を押します。
5. ⬆または⬇で設定します。
6. 設定が完了したら●を押します。

注意点

- ・この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。

参考

- ・色温度の値に応じてゲインの値が変わります。
 - ・ゲインの値を変更すると、色温度は「User」になります。
-

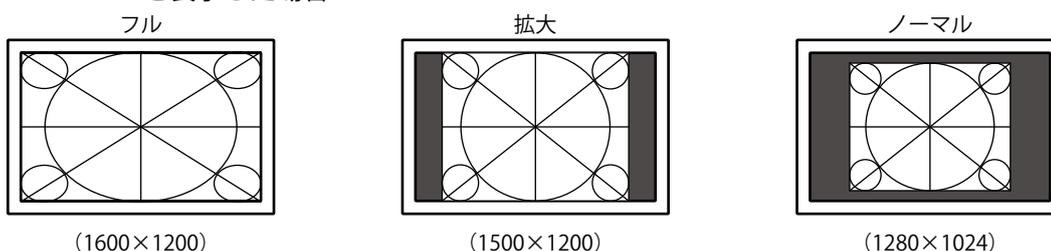
2-4. 表示サイズを切り替える

● 表示サイズを切り替える

推奨解像度以外の解像度は、自動的に画面全体に拡大されますが、「スクリーン」の「画面サイズ」機能を使用して表示サイズを切り替えることができます。

設定	機能
フル	画面全体に画像を表示します。ただし、拡大比率は縦、横一定ではないため、表示画像に歪みが見られる場合があります。
拡大	画面全体に画像を表示します。ただし、拡大比率を縦、横一定にするため、水平、垂直のどちらかの方向に画像が表示されない部分が残る場合があります。
ノーマル	設定した解像度のままの大きさに画像が表示されます。

例：1280×1024を表示した場合



設定方法

1. 調整メニューの「スクリーン」を選択し、**○**を押します。
2. 「スクリーン」で「画面サイズ」を選択し、**○**を押します。
3. **▲**または**▼**で「フル」/「拡大」/「ノーマル」のいずれかを選択します。
4. 設定が完了したら**○**を押します。

注意点

- ・「ノーマル」を選択した場合、すべての色階調を表示できないことがあります。

2-5. オートシャープネスの有効/無効を設定する

オートシャープネスを有効にすると、表示画像に応じて画像の輪郭を調整し、質感、素材感を向上させることができます。

設定方法

1. 調整メニューの「ツール」を選択し、**○**を押します。
2. 「ツール」で「オートシャープネス」を選択し、**○**を押します。
3. **▲**または**▼**で「オン」または「オフ」を選択します。
4. 設定が完了したら**○**を押します。

参考

- ・「輪郭補正」の設定値に応じて調整度合いが変わります。

第3章 モニターの設定をする

3-1. フロントボタン/電源ランプの明るさを設定する

フロントボタン（操作ボタンおよび電源ボタン）と電源ランプの明るさを設定することができます。

注意点

- ・フロントボタン/電源ランプはそれぞれ次のときに点灯し、初期設定では「4」に設定されています。
 - 電源ボタン：電源コードを電源コンセントに接続したとき
 - 操作ボタンおよび電源ランプ：電源を入れたとき

設定方法

1. 調整メニューの「PowerManager」を選択し、**○**を押します。
2. 「PowerManager」で「電源ランプ」を選択し、**○**を押します。
3. **▲**または**▼**で明るさを1～7の範囲から好みに応じて選択します。
4. 設定が完了したら**○**を押します。

3-2. 表示言語を設定する

調整メニューやメッセージの表示言語が選択できます。

選択できる言語

英語/ドイツ語/フランス語/スペイン語/イタリア語/スウェーデン語/日本語/中国語（簡体）/中国語（繁体）

設定方法

1. 調整メニューの「メニュー設定」を選択し、**○**を押します。
2. 「メニュー設定」で「言語選択」を選択し、**○**を押します。
3. **▲**または**▼**で言語を選択します。
4. 設定が完了したら**○**を押します。

3-3. 調整メニューの位置を変更する

調整メニューの表示位置を移動できます。

設定方法

1. 調整メニューの「メニュー設定」を選択し、**○**を押します。
2. 「メニュー設定」で「メニューポジション」を選択し、**○**を押します。
3. **▲**または**▼**で位置を選択します。
4. 設定が完了したら**○**を押します。

3 - 4. EIZOロゴ表示を設定する

EIZOロゴの表示/非表示の切り替えができます。

設定方法

1. ⑥を2秒以上押して、モニターの電源を切ります。
2. ⑦を押しながら⑥を2秒以上押してモニターの電源を入れます。
「オプション設定」メニューが表示されます。
3. 「オプション設定」より「起動ロゴ」を選択し、⑧を押します。
4. ⑨または⑩で「オン」または「オフ」を選択し、⑧を押します。
5. ⑨または⑩で「完了」を選択します。
6. ⑧を押します。
「オプション設定」メニューが閉じます。

3 - 5. 操作ボタンをロックする

調整/設定した状態を変更できないようにします。

設定方法

1. ⑥を2秒以上押して、モニターの電源を切ります。
2. ⑦を押しながら⑥を2秒以上押してモニターの電源を入れます。
「オプション設定」メニューが表示されます。
3. 「オプション設定」より「操作ロック」を選択し、⑧を押します。
4. ⑨または⑩で「オフ」/「メニュー」/「オール」のいずれかを選択し、⑧を押します。

設定項目	ロックできるボタン
オフ (初期設定)	なし (すべてのボタンが有効)
メニュー	⑧ ボタン
オール	⑧ ボタンを除くすべてのボタン

5. ⑨または⑩で「完了」を選択します。
6. ⑧を押します。
「オプション設定」メニューが閉じます。

3 - 6. DDC/CI通信の有効/無効を設定する

DDC/CI通信の有効/無効を切り替えます (「6-4.用語集」(P.37) 参照)。

設定方法

1. ⑥を2秒以上押して、モニターの電源を切ります。
2. ⑦を押しながら⑥を2秒以上押してモニターの電源を入れます。
「オプション設定」メニューが表示されます。
3. 「オプション設定」より「DDC/CI」を選択し、⑧を押します。
4. ⑨または⑩で「オン」または「オフ」を選択し、⑧を押します。
5. ⑨または⑩で「完了」を選択します。
6. ⑧を押します。
「オプション設定」メニューが閉じます。

3 - 7. Backlight Off Modeの設定をする

「ブライトネス」を下限値に設定したときの状態を設定できます。

設定	状態
オン	「ブライトネス」を下限値にすると、バックライトが消灯し画面が真っ暗になります。 (ただし、調整メニュー表示時、「入力信号エラー」表示時、EIZOロゴ表示時などを除く)
オフ	「ブライトネス」を下限値にしても、画面は真っ暗になりません。

設定方法

1. **Ⓞ** を2秒以上押して、モニターの電源を切ります。
2. **Ⓞ** を押しながら **Ⓞ** を2秒以上押してモニターの電源を入れます。
「オプション設定」メニューが表示されます。
3. 「オプション設定」より「Backlight Off Mode」を選択し、**Ⓞ** を押します。
4. **Ⓞ** または **Ⓞ** で「オン」または「オフ」を選択し、**Ⓞ** を押します。
5. **Ⓞ** または **Ⓞ** で「完了」を選択します。
6. **Ⓞ** を押します。
「オプション設定」メニューが閉じます。

3 - 8. 初期設定に戻す

リセットには、カラー調整のみを初期設定に戻すカラーリセットと、すべての設定内容を初期設定に戻すオールリセットの2種類があります。

注意点

- ・リセット実行後は、リセット前の状態に戻すことはできません。

参考

- ・初期値については、「[主な初期設定値](#)」(P.35)を参照してください。

● カラー調整値をリセットする

現在選択しているモードのカラー調整値のみを初期設定に戻します。

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、**Ⓞ** を押します。
2. 「カラー」で「カラーリセット」を選択し、**Ⓞ** を押します。
3. **Ⓞ** または **Ⓞ** で「実行」を選択します。
4. **Ⓞ** を押します。
カラー調整値が初期設定になります。

● すべての設定内容をリセットする

すべての設定内容を初期設定に戻します（「入力」、「オプション設定」メニューは除く）。

設定方法

1. 調整メニューの「ツール」を選択し、**Ⓞ** を押します。
2. 「ツール」で「オールリセット」を選択し、**Ⓞ** を押します。
3. **Ⓞ** または **Ⓞ** で「実行」を選択します。
4. **Ⓞ** を押します。
「入力」および「オプション設定」メニューを除くすべての設定内容が初期設定になります。

第4章 省電力機能について

4-1. パワーセーブの設定をする

コンピュータの状態と連動してモニターを省電力モードにする/しないの切り替えができます。省電力モードに移行すると画面を非表示にします。

注意点

- 完全な省電力のためにはモニターの電源を切ることをお勧めします。
- パワーセーブ移行の5秒前になると予告メッセージが表示されます。

設定方法

1. 調整メニューの「PowerManager」を選択し、**○**を押します。
2. 「PowerManager」で「パワーセーブ」を選択し、**○**を押します。
3. **⬆**または**⬇**で「オン」または「オフ」を選択します。
4. 設定が完了したら**○**を押します。

省電力の流れ

アナログ信号入力の場合

「VESA DPM」に準拠しています。

コンピュータの状態		モニターの状態	電源ランプ
オン		オペレーションモード	緑
省電力モード	スタンバイ サスペンド オフ	省電力モード	橙

デジタル信号入力の場合

「DVI DMPM」に準拠しています。

コンピュータの設定に連動し5秒後に省電力モードに入ります。

コンピュータの状態		モニターの状態	電源ランプ
オン		オペレーションモード	緑
省電力モード		省電力モード	橙

省電力モードからの復帰方法

モニターに信号が入力されると、自動的に復帰し画面が表示されます。

4-2. モニターの自動明るさ調整の設定をする

Auto EcoView（オートエコビュー）を「オン」にするとモニター下部のセンサーが周囲の明るさを検知し、明るさに応じて自動的に画面の明るさを調整します。

注意点

- Auto EcoView機能を使用する場合はセンサーをふさがないように注意してください。

設定方法

1. 調整メニューの「PowerManager」を選択し、**○**を押します。
2. 「PowerManager」で「Auto EcoView」を選択し、**○**を押します。
3. **▲**または**▼**で「オン」または「オフ」を選択します。
4. 設定が完了したら**○**を押します。

参考

- Auto EcoViewの自動調整の範囲は、調整メニューの「ブライトネス」を調整すると、連動して変更されます。

4-3. モニターの自動電源切断機能の設定をする

モニターの省電力モードが一定時間続いたときに、モニターの電源を自動的に切る/切らないの切り替えができます。

設定範囲

オフ、0、1、2、3、4、5、10、15、20、25、30、45min、1、2、3、4、5h

設定方法

1. 調整メニューの「PowerManager」を選択し、**○**を押します。
2. 「PowerManager」で「Ecoタイマー」を選択し、**○**を押します。
3. **▲**または**▼**で「オフ」またはモニターの電源が切れるまでの時間を選択します。
4. 設定が完了したら**○**を押します。

第5章 こんなときは

症状に対する処置をおこなっても解消されない場合は、販売店またはEIZOサポートにご相談ください。

5-1. 画面が表示されない場合

症状	原因と対処方法
<p>1. 画面が表示されない</p> <ul style="list-style-type: none"> 電源ランプが点灯しない 電源ランプが点灯：緑色 電源ランプが点灯：橙色 	<ul style="list-style-type: none"> 電源コードは正しく接続されていますか。 Ⓞを押してください。 調整メニューの「ブライツネス」、「コントラスト」、「ゲイン」の各調整値を上げてみてください（「2-3. カラー調整をする」(P.16) 参照）。 入力信号を切り替えてみてください（「入力信号を切り替える」(P.31) 参照）。 マウス、キーボードを操作してみてください。 コンピュータの電源は入っていますか。
<p>2. 次のようなメッセージが表示される</p> <ul style="list-style-type: none"> 信号が入力されていない場合の表示です。 例： 	<p>この表示はモニターが正常に機能していても、信号が正しく入力されないときに表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> コンピュータによっては電源を入れても信号がすぐに出力されないため、左のような画面が表示されることがあります。 コンピュータの電源は入っていますか。 信号ケーブルは正しく接続されていますか。 入力信号を切り替えてみてください。（「入力信号を切り替える」(P.31) 参照）。
<ul style="list-style-type: none"> 入力されている信号が周波数仕様範囲外であることを示す表示です。（範囲外の周波数はマゼンタで表示されます。） 例：  <p>fD：ドットクロック (デジタル信号入力時のみ表示されま す) fH：水平走査周波数 fV：垂直走査周波数</p>	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータの設定が、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数になっていますか（セットアップマニュアル「対応解像度」参照）。 コンピュータを再起動してみてください。 グラフィックスボードのユーティリティなどで、適切な表示モードに変更してください。詳細はグラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。

5 - 2. 画面に関する症状（デジタル・アナログ共通）

症状	原因と対処方法
1. 画面が明るすぎる/暗すぎる	<ul style="list-style-type: none"> 調整メニューの「ブライトネス」、「コントラスト」を調整してください。（液晶モニターのパックライトには、寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになったら、EIZOサポートにご相談ください。） 調整メニューの「Auto EcoView（オートエコビュー）」をオンにしてみてください。周囲の明るさに応じて自動的に画面の明るさを調整します（「4-2. モニターの自動明るさ調整の設定をする」（P.25）参照）。
2. 画面が突然暗くなった/調整メニューの「ブライトネス」の値が70%以上に設定できない	<ul style="list-style-type: none"> この製品は常に本体内部の温度を監視しています。内部が高温になり、一定の温度を超えると、温度を下げるため自動的に次の状態になります。 <ul style="list-style-type: none"> 「ブライトネス」が70%を超えている場合、設定値を70%に下げる 「ブライトネス」の設定値が70%以上に設定できなくなる この状態は、内部の温度が下がると元に戻ります。また、「ブライトネス」を下げても、本体内部の温度がさらに高くなった場合には、「WARNING」のメッセージが表示され、自動的にモニターの電源が切れます。（電源ランプが緑色に点滅します。）
3. 文字がぼやけて見える	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータの設定が、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数になっていますか（セットアップマニュアル「対応解像度」参照）。 調整メニューの「輪郭補正」で調整してみてください（「輪郭補正をする」（P.19）参照）。
4. 残像が現れる	<ul style="list-style-type: none"> この現象は液晶パネルの特性であり、固定画面で長時間使用することをできるだけ避けることをお勧めします。 長時間同じ画像を表示する場合は、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。
5. 画面に緑、赤、青、白のドットが残るまたは点灯しないドットが残る	<ul style="list-style-type: none"> これらのドットが残るのは液晶パネルの特性であり、故障ではありません。
6. 画面上に干渉縞が見られる/パネルを押した跡が消えない	<ul style="list-style-type: none"> 画面全体に白い画像または黒い画像を表示してみてください。症状が解消されることがあります。
7. 画面にノイズが現れる	<ul style="list-style-type: none"> HDCP方式の信号を入力した場合、正常な画面がすぐに表示されないことがあります。

5-3. 画面に関する症状（アナログのみ）

症状	原因と対処方法
1. 画像がずれている 	<ul style="list-style-type: none"> 調整メニューの「ポジション」で画像の位置を合わせてください（「表示位置のずれを直す」（P.15）参照）。 グラフィックスボードのユーティリティなどに画像の位置を変える機能があれば、その機能を使用して調整してください。
2. 画面に縦線が出ている/画面の一部がちらついている 	<ul style="list-style-type: none"> 調整メニューの「クロック」で調整してみてください（「縦縞を消す」（P.15）参照）。
3. 画面全体がちらつく、にじむように見える 	<ul style="list-style-type: none"> 調整メニューの「フェーズ」で調整してみてください（「ちらつきやにじみをとる」（P.15）参照）。

5-4. その他の症状

症状	原因と対処方法
1. 調整メニューが表示できない	<ul style="list-style-type: none"> 操作ボタンのロックが機能していないか確認してみてください（「3-5. 操作ボタンをロックする」（P.22）参照）。

5-5. タッチパネルに関する症状（FDU2101Tのみ）

注意点

- タッチパネルドライバのインストール方法、使用方法などの詳細については、タッチパネルドライバの取扱説明書（CD-ROM内）を参照してください。

症状	原因と対処方法
1. カーソル位置がずれる/カーソルが飛ぶ	<ul style="list-style-type: none">• モニターの電源を入れなおしてみてください。それでも症状が改善されない場合は、キャリブレーションをおこなってください。• 一本の指でタッチするようにしてください。• モニターのセットアップマニュアルまたは取扱説明書に記載のケーブルでモニターとコンピュータを接続してください。変換アダプタなどを利用すると、タッチパネルが正しく動作しない場合があります。
2. タッチ操作が効かない	<ul style="list-style-type: none">• 「タッチパネルドライバ プロパティ」画面の「デバイス」メニューにある「EEPROM有効」にチェックが入っていないか確認してください。チェックが入っている場合は、チェックを外してからキャリブレーションをおこなってください。• 他のログインユーザーが設定を変更した可能性があります。設定をやり直してください。
3. タッチパネルの表面にたわみが生じる	<ul style="list-style-type: none">• タッチパネルの構造上、高温多湿の環境ではタッチパネルの表面にたわみが生じることがあります。故障ではありません。
4. タッチ音が鳴らない	<ul style="list-style-type: none">• コンピュータのハードウェア構成によっては、コンピュータの音声出力端子からタッチ音を出力しない場合があります。• Windows 7で使用する場合は、コンピュータの音声出力端子からのみ音が出力されます。タッチ音を鳴らす場合はスピーカーを接続してください。

第6章 ご参考に

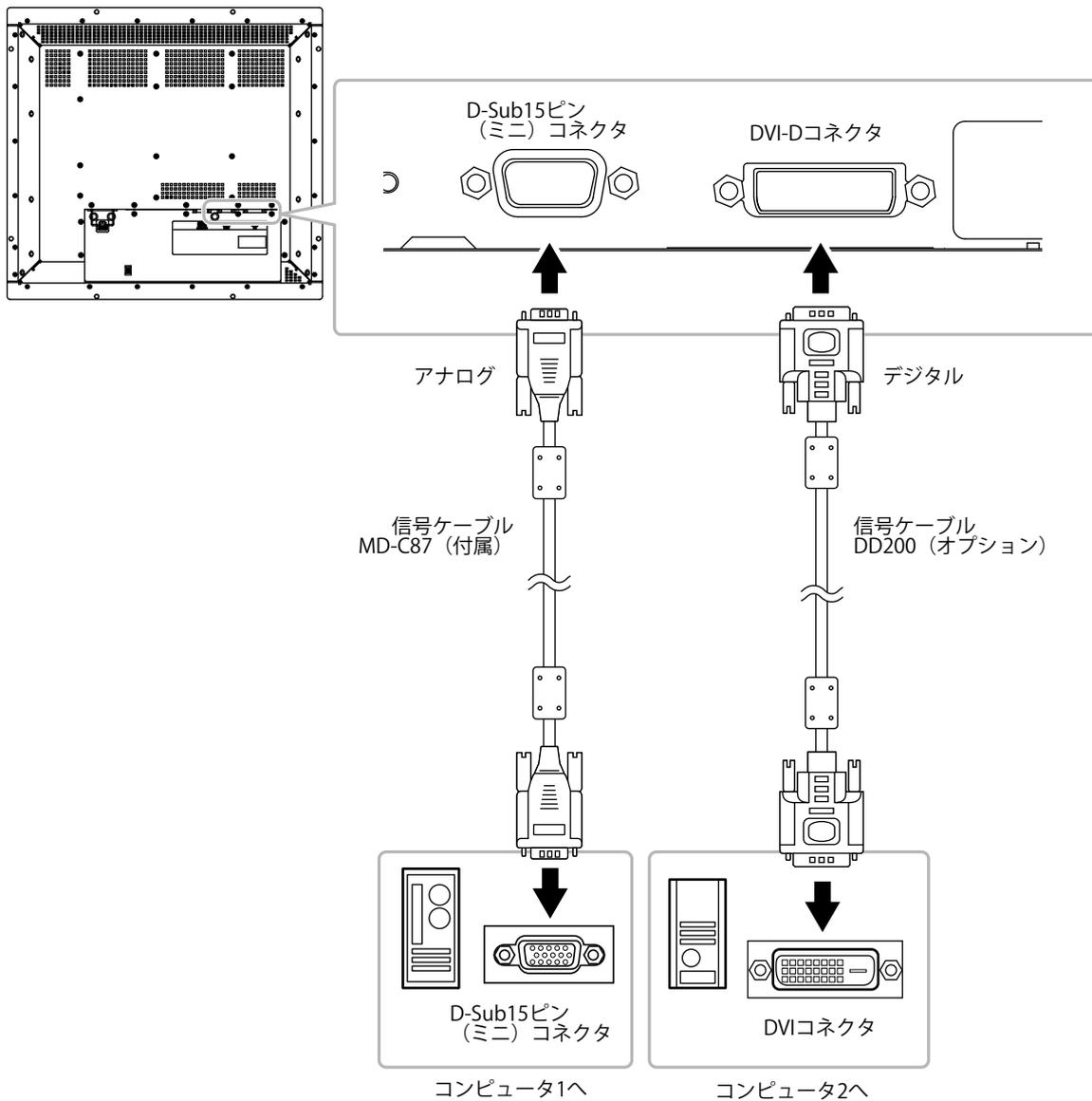
6-1. 複数のコンピュータを接続する

この製品は、複数のコンピュータを接続し、切り替えて表示することができます。

注意点

- タッチパネルモニターは、1台のコンピュータでの使用を前提としています。複数のコンピュータと接続する場合は、RS-232Cケーブルをタッチ操作するコンピュータ（1台のみ）に接続してください。

接続例

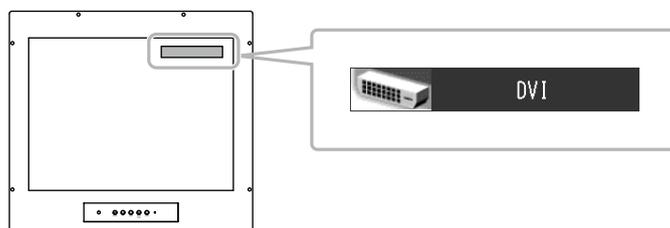


● 入力信号を切り替える

設定方法

1. 調整メニューの「ツール」を選択し、**○**を押します。
2. 「ツール」で「入力」を選択し、**○**を押します。
3. **▲**または**▼**で「D-SUB」または「DVI」を選択します。
4. 設定が完了したら**○**を押します。

画面右上に選択された入力ポート名が表示されます。



● 入力信号の切替方法を設定する

設定	機能
オート	コンピュータ信号が入力されているコネクタを自動的に判別して画面を表示します。コンピュータの電源が切れたり、省電力モードに入ると自動的に、他の信号を表示します。
マニュアル	表示中のコンピュータの信号のみを検知します。調整メニューで表示させたい入力信号を選択してください。

設定方法

1. 調整メニューの「ツール」を選択し、**○**を押します。
2. 「ツール」で「入力切替」を選択し、**○**を押します。
3. **▲**または**▼**で「オート」または「マニュアル」を選択します。
4. 設定が完了したら**○**を押します。

参考

- 「オート」が選択されている場合は、すべてのコンピュータが省電力モードに入っている場合のみモニターの省電力機能が動作します。

6-2. モニター情報を表示する

● 信号情報を表示する

現在表示している入力信号の情報を表示します。

設定方法

1. 調整メニューの「ツール」を選択し、**○**を押します。
2. 「ツール」で「入力信号情報」を選択し、**○**を押します。
「入力信号情報」が表示されます。

(例)



● モニター情報を表示する

この製品に関する情報を表示します。

設定方法

1. 調整メニューの「ツール」を選択し、**○**を押します。
2. 「ツール」で「モニター情報」を選択し、**○**を押します。
「モニター情報」が表示されます。

製品名、製造番号、使用時間などを表示します。

(例)



注意点

- ・工場での検査などのため、購入時に使用時間が「0」ではない場合があります。

6-3. 仕様

● FDU2101

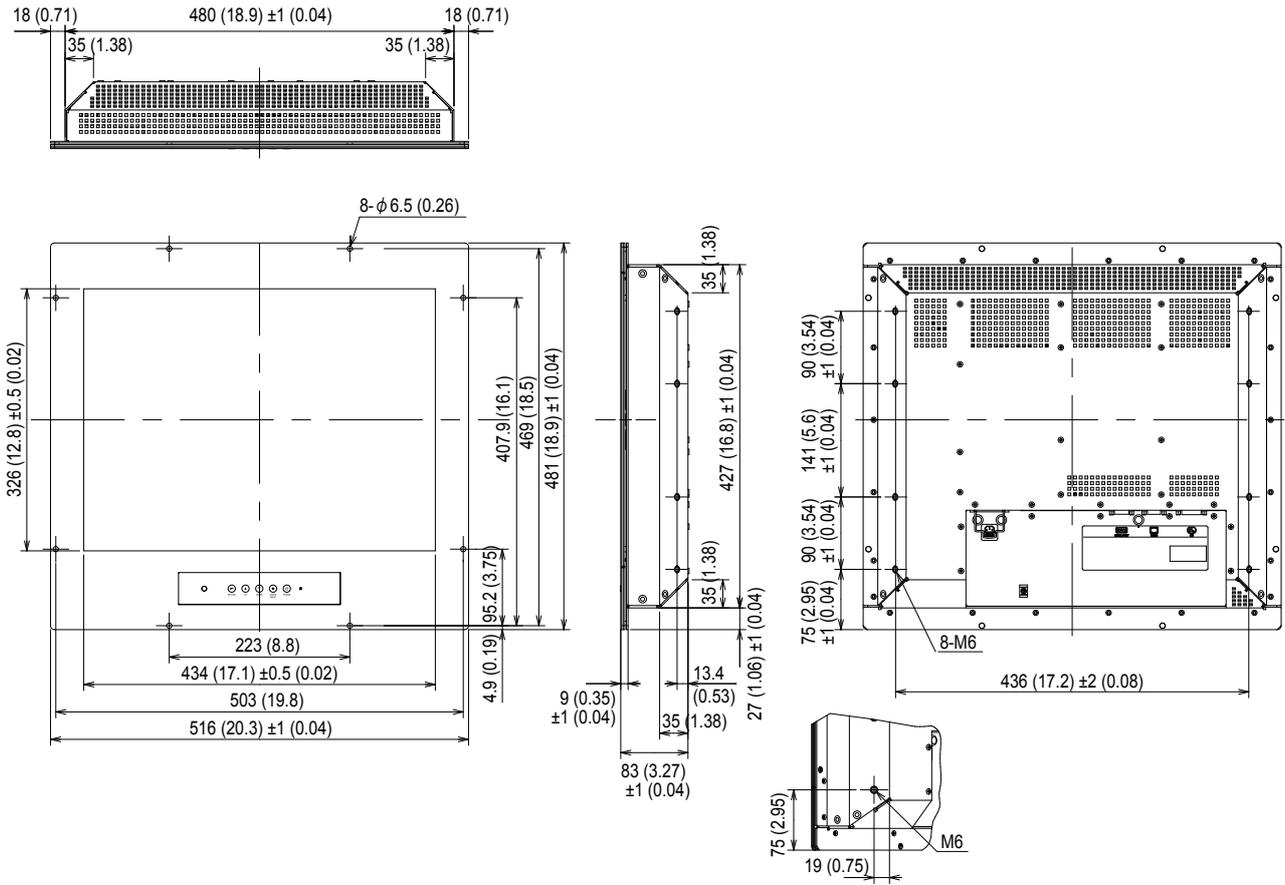
液晶パネル	サイズ	54cm (21.3) 型 カラーTFT
	視野角	左右178°、上下178° (CR≥10)
	ドットピッチ	0.270mm
	応答速度	黒→白→黒：約16ms 中間階調域：約8ms
保護ガラス	表面処理	アンチグレア
	表面硬度	9H
水平走査周波数	アナログ	31~92kHz
	デジタル	31~76kHz
垂直走査周波数	アナログ	56~86Hz (ノンインターレース) (1600×1200時：~61Hz)
	デジタル	59~61Hz (ノンインターレース) (VGA TEXT時：69~71Hz)
解像度	1600ドット×1200ライン	
ドットクロック (最大)	162MHz	
最大表示色	約1677万色	
表示サイズ (水平×垂直)	432.0mm×324.0mm	
電源	100-120VAC±10%、50/60Hz、0.65A 200-240VAC±10%、50/60Hz、0.35A (※付属の電源コードは100VAC専用品です。)	
消費電力	画面表示時	60W以下
	省電力モード時	4.5W以下 (D-Sub 1 系統入力時、「入力切替」：「マニュアル」設定時、 「DDC/CI」：「オフ」設定時)
	電源オフ時	4W以下 (「DDC/CI」：「オフ」設定時)
信号入力コネクタ	D-Sub15ピン (ミニ)	
	DVI-Dコネクタ (HDCP対応)	
アナログ信号 入力同期信号	セパレート、TTL、正/負極性 コンポジット、TTL、正/負極性	
アナログ信号 入力映像信号	アナログ、正極性 (0.7Vp-p/75Ω)	
デジタル信号 伝送方式	TMDS (Single Link)	
プラグ&プレイ機能	VESA DDC 2B/EDID structure 1.3	
寸法 (幅) × (高さ) × (奥行き)	516mm×481mm×83mm (突起部を除く)	
質量	約13kg	
環境条件	温度	動作温度範囲： -15℃~55℃ 輸送および保存温度範囲： -20℃~60℃
	湿度	動作湿度範囲： 10% ~ 90% R.H. (非結露状態) 輸送および保存湿度範囲： 10% ~ 90% R.H. (湿球温度39℃以下、非結露状態)
保護構造	IP65 (フロント面のみ)	
コンパス安全距離	標準コンパス：1.3m以上 操舵用コンパス：0.7m以上	

● FDU2101T

液晶パネル	サイズ	54cm (21.3) 型 カラーTFT
	視野角	左右178°、上下178° (CR≥10)
	ドットピッチ	0.270mm
	応答速度	黒→白→黒：約16ms 中間階調域：約8ms
水平走査周波数	アナログ	31～92kHz
	デジタル	31～76kHz
垂直走査周波数	アナログ	56～86Hz (ノンインターレース) (1600×1200時：～61Hz)
	デジタル	59～61Hz (ノンインターレース) (VGA TEXT時：69～71Hz)
解像度		1600ドット×1200ライン
ドットクロック (最大)		162MHz
最大表示色		約1677万色
表示サイズ (水平×垂直)		432.0mm×324.0mm
タッチパネル	表面処理	アンチグレア、ハードコーティング
	表面硬度	2H
	通信手段	RS-232Cシリアル転送
	検出方式	アナログ抵抗膜方式
	対応OS	Microsoft Windows 7 Service Pack 1 (32ビット版/64ビット版) Microsoft Windows Vista Service Pack 2 (32ビット版) Microsoft Windows XP Service Pack 3 (32ビット版) (Mac OSには対応していません。)
電源		100-120VAC±10%、50/60Hz、0.65A 200-240VAC±10%、50/60Hz、0.35A (※付属の電源コードは100VAC専用品です。)
消費電力	画面表示時	60W以下
	省電力モード時	4.5W以下 (D-Sub 1 系統入力時、「入力切替」：「マニュアル」設定時、 「DDC/CI」：「オフ」設定時)
	電源オフ時	4W以下 (「DDC/CI」：「オフ」設定時)
信号入力コネクタ		D-Sub15ピン (ミニ) DVI-Dコネクタ (HDCP対応)
アナログ信号 入力同期信号		セパレート、TTL、正/負極性 コンポジット、TTL、正/負極性
アナログ信号 入力映像信号		アナログ、正極性 (0.7Vp-p/75Ω)
デジタル信号 伝送方式		TMDS (Single Link)
プラグ&プレイ機能		VESA DDC 2B/EDID structure 1.3
寸法 (幅) × (高さ) × (奥行き)		516mm×481mm×83mm (突起部を除く)
質量		約13kg
環境条件	温度	動作温度範囲： -15℃～55℃ 輸送および保存温度範囲： -20℃～60℃
	湿度	動作湿度範囲： 10%～90% R.H. (非結露状態) 輸送および保存湿度範囲： 10%～90% R.H. (湿球温度39℃以下、非結露状態)
保護構造		IP65 (フロント面のみ)
コンパス安全距離		標準コンパス：1.3m以上 操舵用コンパス：0.7m以上

● FDU2101T

単位：mm（インチ）



6-4. 用語集

色温度

白色の色合いを数値的に表したものを色温度といい、K：Kelvin（ケルビン）で表します。炎の温度と同様に、画面は温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。

5000K：やや赤みがかった白色

6500K：昼光色と呼ばれる白色

9300K：やや青みがかった白色

解像度

液晶パネルは決められた大きさの画素を敷き詰めて、その画素を光らせて画像を表示させています。この機種の場合は横1600個、縦1200個の画素がそれぞれ敷き詰められています。このため、1600×1200の解像度であれば、画像は画面全体（1対1）に表示されます。

クロック

アナログ信号入力方式のモニターにおいて、アナログ信号をデジタル信号に変換して画像を表示する際に、使用しているグラフィックスボードのドットクロックと同じ周波数のクロックを再生する必要があります。このクロックの値を調整することをクロック調整といい、クロックの値が正常でない場合は画面上に縦縞が現れます。

ガンマ

一般に、モニターは入力信号のレベルに対して非直線的に輝度が変化していきます。これをガンマ特性と呼んでいます。画面はガンマ値が低いとコントラストが弱く、ガンマ値が高いとコントラストが強くなります。

ゲイン

赤、緑、青それぞれの色の値を調整するものです。液晶モニターではパネルのカラーフィルタに光を通して色を表示しています。赤、緑、青は光の3原色であり、画面上に表示されるすべての色は3色の組み合わせによって構成されます。3色のフィルタに通す光の強さ（量）をそれぞれ調整することによって、色調を変化させることができます。

フェーズ

アナログ信号をデジタル信号に変換する際のサンプリングタイミングのことです。このタイミングを調整することをフェーズ調整といいます。クロックを正しく調整した後でフェーズ調整をおこなうことをお勧めします。

レンジ調整

信号の出力レベルを調整し、すべての色階調を表示できるように調整します。カラー調整をおこなう前にはレンジ調整をおこなうことをお勧めします。

DDC/CI (Display Data Channel / Command Interface)

VESAによって標準化された、コンピュータとモニター間で設定情報などを双方向にやりとりするための国際規格です。

DVI (Digital Visual Interface)

デジタルインターフェース規格の一つです。コンピュータ内部のデジタルデータを損失なくダイレクトに伝送できます。

伝送方式にTMDS、コネクタにDVIコネクタを採用しています。デジタル信号入力のみ対応のDVI-Dコネクタと、デジタル/アナログ信号入力可能なDVI-Iコネクタがあります。

DVI DMPM (DVI Digital Monitor Power Management)

デジタルインターフェースの省電力機能のことです。モニターのパワー状態についてはモニターオン（オペレーションモード）とアクティブオフ（省電力モード）が必須となっています。

HDCP (High-bandwidth Digital Content Protection)

映像や音楽などのデジタルコンテンツの保護を目的に開発された、信号の暗号化方式。

DVIコネクタやHDMIコネクタなどを経由して送信されるデジタルコンテンツを出力側で暗号化し入力側で復号化することによりコンテンツを安全に伝送できます。

出力側と入力側の双方の機器がHDCP対応していないと、コンテンツを再生できない仕組みになっています。

TMDS (Transition Minimized Differential Signaling)

デジタルインターフェースにおける、信号伝送方式の一つです。

VESA DPM (Video Electronics Standards Association - Display Power Management)

VESAでは、コンピュータ用モニターの省エネルギー化を実現するため、コンピュータ（グラフィックスボード）側からの信号の標準化をおこなっています。DPMはコンピュータとモニター間の信号の状態について定義しています。

6-5. プリセットタイミング

工場出荷時に設定されているアナログ信号のタイミングは次のとおりです。

注意点

- 接続されるコンピュータの種類により表示位置などがずれ、調整メニューで画面の調整が必要になる場合があります。
- 一覧表に記載されている以外の信号を入力した場合は、調整メニューで画面の調整をおこなってください。ただし、調整をおこなっても画面を正しく表示できない場合があります。
- インターレースの信号は、調整メニューで調整をおこなっても画面を正しく表示することができません。

解像度	対応信号	周波数			極性	
		ドットクロック：MHz	水平：kHz	垂直：Hz	水平	垂直
640 × 480	VGA	25.18	31.47	59.94	負	負
640 × 480	VESA	31.50	37.86	72.81	負	負
640 × 480	VESA	31.50	37.50	75.00	負	負
640 × 480	VESA	36.00	43.27	85.00	負	負
720 × 400	VGA TEXT	28.32	31.47	70.09	負	正
800 × 600	VESA	36.00	35.16	56.25	正	正
800 × 600	VESA	40.00	37.88	60.32	正	正
800 × 600	VESA	50.00	48.08	72.19	正	正
800 × 600	VESA	49.50	46.88	75.00	正	正
800 × 600	VESA	56.25	53.67	85.06	正	正
1024 × 768	VESA	65.00	48.36	60.00	負	負
1024 × 768	VESA	75.00	56.48	70.07	負	負
1024 × 768	VESA	78.75	60.02	75.03	正	正
1024 × 768	VESA	94.50	68.68	85.00	正	正
1152 × 864	VESA	108.00	67.50	75.00	正	正
1152 × 900	WS	94.20	61.97	66.14	負	負
1152 × 900	WS	107.50	71.86	76.20	負	負
1280 × 960	VESA	108.00	60.00	60.00	正	正
1280 × 1024	VESA	108.00	63.98	60.02	正	正
1280 × 1024	WS	117.00	71.69	67.19	負	負
1280 × 1024	VESA	135.00	79.98	75.03	正	正
1280 × 1024	VESA	157.50	91.15	85.03	正	正
1600 × 1200	VESA	162.00	75.00	60.00	正	正

付録

商標

VESAはVideo Electronics Standards Associationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows、Windows Vista、Windows Media、Xbox 360は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Apple、Mac、Macintosh、iMac、eMac、Mac OS、MacBook、PowerBook、ColorSync、QuickTime、iBookはApple Inc.の登録商標です。

Adobe、Adobe AIR、Acrobat、PhotoshopはAdobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国およびその他の国における登録商標です。

PowerPCはInternational Business Machines Corporationの登録商標です。

PentiumはIntel Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

AMD Athlon、AMD OpteronはAdvanced Micro Devices, Inc.の商標です。

GRACoL、IDEAllianceはInternational Digital Enterprise Allianceの登録商標です。

ColorVision、ColorVision Spyder2はDataColor Holding AGの米国における登録商標です。

Spyder3はDataColor Holding AGの商標です。

Eye-One、ColorMunki、X-RiteはX-Rite Incorporatedの米国および/またはその他の国における登録商標または商標です。

TouchWareは3M Touch Systems, Inc.の商標です。

NextWindowはNextWindow Ltd.の商標です。

RealPlayerはRealNetworks, Inc.の登録商標です。

NECは日本電気株式会社の登録商標です。PC-9801、PC-9821は日本電気株式会社の商標です。

プレイステーション、PlayStation、PSP、PS3は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。

Japan Color、ジャパンカラーは社団法人日本印刷産業機械工業会および社団法人日本印刷学会の日本登録商標です。

JMPAカラーは社団法人日本雑誌協会の日本登録商標です。

ENERGY STARは米国環境保護庁の米国およびその他の国における登録商標です。

HDMI、HDMI ロゴ、High-Definition Multimedia InterfaceはHDMI Licensing, LLCの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

EIZO、EIZOロゴ、ColorEdge、DuraVision、FlexScan、FORIS、RadiForce、RadiCS、RadiNET、Raptor、ScreenManagerはEIZO株式会社の日本およびその他の国における登録商標です。

C@T-one、FlexViewはEIZO株式会社の日本登録商標です。

ColorNavigator、EIZO EasyPIX、EcoView NET、EIZO ScreenSlicer、i・Sound、Screen Administrator、UniColor ProはEIZO株式会社の商標です。

その他の各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

ライセンス

この製品上で表示される文字には、株式会社リコーが制作したビットマップフォント丸ゴシックボールドを使用しています。

船級型式承認

この装置は、次の船級の型式承認を取得しております。

- NK（日本海事協会） - DNV（ノルウェー船級協会）
- ABS（アメリカ船級協会） - LR（ロイド船級協会）

※上記以外の船級の取得状況については、当社Webサイトでご確認ください。<http://www.eizo.co.jp>

